

2011 年度事業計画書

事業年度（2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日）

■留学生の奨学事業【公 1】（公益目的事業 1）

➤ 奨学金支給（32,300 千円）

(1) 渥美奨学金の支給（29,800 千円）

第 17 期奨学生に月額 20 万円の奨学金を支給する。

- ・ 東京面接 11 名
- ・ ソウル面接 1 名
- ・ 2010 年度ソウル面接 1 名（4 月～8 月）

毎月個々又はグループで、奨学生を事務局等に招き、学業の進行状況や生活環境等について話し合った上、銀行小切手で支給する。

(2) 博士号取得者の海外学会参加者奨学金（1,500 千円）

渥美奨学生で博士号を取得した者に、海外で開催される学会等に参加するための旅費・宿泊費等を支給する。但し、海外に居住する者は、日本への旅費等に充当することができる。（30 万円を上限とする）

(3) 元奨学生を対象とした継続支援奨学金（1,000 千円）

奨学金支給期間に博士号を取得できず、現在も研究を続けている者で、経済的困窮度の高い者に、奨学金を支給する。

➤ 募集選考（950 千円）

(4) 2012 年度第 18 期奨学生の募集・選考（海外募集枠を含めて 12 名）（850 千円）

- 7 月 1 日 募集要項配付開始（各大学院に送付・ウェブに掲載）
- 9 月 1 日 応募受付開始
- 9 月 30 日 応募締め切り
- 10 月上旬 予備選考
- 10 月下旬 予備面接
- 11 月 26 日 最終選考会

(5) 2012 年度第 18 期奨学生（海外募集枠）若干名の募集・選考（100 千円）

5 月 1 日	募集要項配付開始（各大学院・研究所に送付・HP に掲載）
6 月 1 日	応募受付開始
7 月 31 日	応募締め切り
9 月上旬	書類選考
9～10 月	予備面接
11 月 26 日	最終選考会（旅費を負担）

☆海外募集枠の選考は、提出書類を事務局で審査し、書類審査合格者には現地またはスカイプで予備面接を行い、渥美奨学生と同等レベルに達すると判断する場合は東京の最終選考会へ招待する。

➤ 生活支援（1,800 千円）

(6) 月例会（1,700 千円）

① 毎月の交流会（*財団理事・評議員・選考委員との交流会）（850 千円）

4 月	2011 年度奨学生食事会
5 月	個別面談
6 月	理事・評議員会後の親睦会*
7 月	2011 年度奨学生食事会
9 月	個別面談
10 月	渥美奨学生の集い*
11 月	2011 年度奨学生食事会
12 月	個別面談
1 月	新年会
2 月	個別面談
3 月	研究報告会*
3 月	2011 年度奨学生食事会

② 夏期蓼科合宿（7 月 1 日～3 日）蓼科高原チェルトの森（850 千円）

(7) アフターケア（100 千円）

- ① 蓼科合宿（7 月）、集い（10 月）、新年会（1 月）に元奨学生を招待。
- ② ソウルにてラクーン会（同窓会）開催（4 月、10 月）
- ③ 北京にてラクーン会（同窓会）開催（9 月）
- ④ その他適時世界各地でラクーン会を開催

■留学生を通じた国際交流事業（SGRA の活動）【公 2】（公益目的事業 2）

➤ 海外拠点における研究交流活動（2,600 千円）

(8) 海外の研究機関等と共同でフォーラム等を開催

① 第 11 回日韓アジア未来フォーラム（500 千円）

テーマ：未定

日時：2011 年 10 月または 2012 年 2 月

会場：韓国

協力機関：(財) 未来人力研究院との共同プロジェクト（派遣側が旅費、受入側が滞在費を負担）

言語：日韓逐次通訳

担当：金雄熙（仁荷大学）

② 第 6 回 SGRA チャイナ・フォーラム（600 千円）

テーマ：「中国の環境問題と日中協力：水俣に学ぶ」

日時：2011 年 9 月 23 日（金）頃

会場・協力機関：北京日本文化センター、北京大学、内モンゴル大学

外部資金：国際交流基金へ助成申請予定

言語：日中同時通訳

担当：孫建軍（北京大学）、ネメフジャルガル（内モンゴル大学）

③ 第 14 回日比マニラ共有型成長セミナー（300 千円）

テーマ：フィリピンの都市と農村

日時：2011 年 10～11 月

会場・協力機関：フィリピン大学労働・産業連帯学部

言語：英語

担当：マックス・マキト（フィリピン大学）

④ 第 4 回ウランバートル国際シンポジウム（500 千円）

テーマ：「20 世紀におけるモンゴル諸族の歴史と文化」

日時：2011 年 8 月 16 日（火）～18 日（木）

会場：モンゴル・日本人材開発センター

協力機関：モンゴルアカデミー国際問題研究所

外部資金：三菱 UFJ 銀行財団、双日財団に助成申請中。企業賛助寄附募金中。

言語：日モ同時通訳

担当：ボルジギン・フスレ（昭和女子大学）

⑤ 第 1 回 SGRA 台湾フォーラムを主催（600 千円）

テーマ：「国際日本学研究のフロンティアに向けて：トレンド・言葉・ストーリーの力」

日時：2011 年 5 月 27 日（金）

会場・協力機関：台湾大学日本語文学系
外部資金：国際交流基金、東芝国際交流財団に助成申請中。企業賛助寄附募金中。
言語：日中同時通訳
担当：張桂娥（東呉大学）

(9) SGRA 国際シンポジウム（2012年8月上海で開催予定）の準備（100千円）

➤ 国内における研究交流活動（SGRA 指定寄付を含む 5,080 千円）

(10) SGRA フォーラムの開催（1,000 千円）

- ① 第 41 回 SGRA フォーラム in 蓼科「東アジア共同体の現状と展望」
日時：2011 年 7 月 2 日(土)午前 10 時～5 時
会場：東京商工会議所蓼科フォーラム
外部資金：実行委員会より委託
担当：「東アジアの安全保障と世界平和」研究チーム、南基正（ソウル大学）
フォーラム実行委員長、李恩民（桜美林大学）
- ② 第 42 回 SGRA フォーラム
日時：2011 年 10 月または 11 月
会場：東京国際フォーラム
担当：「地球市民」研究チーム
- ③ 第 43 回 SGRA フォーラム
日時：2012 年 2 月または 3 月
会場：東京国際フォーラム
担当：「IT と教育」研究チーム

(11) SGRA レポートの発行（2,000 千円）

フォーラムの講演録の冊子本をレポートとして発行し、会員他に送付する。発行部数は各号 600~800 部。また、PDF 版をホームページに掲載する。2011 年度に 4~5 冊発行予定。
[レポート送付先]

- ・ 賛助会員と特別会員（顧問、講師、元渥美奨学生 他） 約 400 名
- ・ 国立国会図書館に納本（ISSN 1346-0382）
- ・ 鹿島建設資料室に納本
- ・ 主要大学の国際センター、図書館等に納本 約 80 機関
- ・ 海外の日本研究センター、図書館等に納本 約 60 機関

(12) レポートの多言語化 (1,280 千円)

日本語で発行した SGRA レポートを英語または中国語へ翻訳し、ウェブ上に掲載する。2011 年度に 2～3 冊発行予定。

(13) SGRA 論文集の発行 (300 千円)

発表形式のフォーラムまたはシンポジウムの論文集を発行する。

(14) SGRA かわらばんの配信 (500 千円)

世界各地の会員のエッセイと SGRA フォーラム等の案内を、毎週水曜日に電子メールで配信。かわらばん配信先は 1100 人 (前年度比 200 人増)。

(15) JAANUS (英文による日本建築・美術用語のオンライン辞書) のテクニカルサポート。
<http://www.aisf.or.jp/~jaanus/>

●上記公益目的事業の基盤整備 (1,680 千円)

(16) ホームページの管理運営 (780 千円)

渥美財団：<http://www.aisf.or.jp>

関口グローバル研究会：<http://www.aisf.or.jp/sgra/>

公益財団法人への移行にあわせて更新する。多言語化を進める。

(17) 募金活動

① 書面による SGRA 活動賛助寄附依頼 (5 月～9 月)

② 奨学事業への賛助企業・寄附者を訪問依頼 (11 月～12 月)

③ SGRA フォーラムの開催等のための助成金申請、賛助寄附募金

(18) 2010 年度年報 (700 部) (600 千円)

(19) 公益財団法人、在日留学生支援団体との情報交換と交流 (300 千円)

- ・ 留学生奨学団体連絡協議会 (JISSA)
- ・ 日本留学生宿舎財団法人協議会
- ・ NPO 法人 国際教育交流協議会 (JAFSA)
- ・ 留学生教育学会 (JAISE)
- ・ (財) 助成財団センター (JFC)
- ・ (財) 公益法人協会